介護助手導入促進事業( 川崎市 )報告書 ( 効果と評価 )

**介護助手導入の効果**

 次の各項目について、効果の度合いを記載してください。

|  |
| --- |
| **１　介護職員の負担軽減**　  |
|  (1)職員に時間的余裕が生まれましたか。  |
|  　　　　 ←生まれた □５　□４　□３　□２　□１ 生まれない→ |
|  (2)職員に精神的な余裕が見られましたか。  |
|  　　 　　　　 ←見られた □５　□４　□３　□２　□１ 見られない→ |
|  (3) 職員の有給休暇の取得状況は変化しましたか。 |
|  　　　　　　 ←増えた □５　□４　□３　□２　□１ 減った→ |
|  (4)　その他 |
|  |
| **２　介護職員業務の効率化** |
|  (1)　業務を細分化したことにより、業務が効率化しましたか。 |
|  　　　　←効率化した □５　□４　□３　□２　□１ 効率化しない→ |
|  (2)　業務を細分化したことにより、重要な業務が明確になりましたか。 |
|  　　　　←明確になった □５　□４　□３　□２　□１ 明確にならな→　　 |
|  (3)　超過勤務は変化しましたか |
|  　　 ←増えた □５　□４　□３　□２　□１ 減った→ 。  |
|  (4)　その他 |
|  |
| **３　介護職業務の質の向上** |
|  (1)　職員が直接介護に集中できるようになりましたか。 |
|  　　 　　　　　←なった □５　□４　□３　□２　□１ならない→ |
|  (2) 利用者への身体介護に費やす時間は増えましたか。 |
|  　　　　　 ←増えた □５　□４　□３　□２　□１ 減った→ |
|  (3) 利用者への身体介護の質は向上しましたか。 |
|  　　　　←向上した □５　□４　□３　□２　□１向上しない→ |
|  (4) 利用者の見守りは手厚くなりましたか。 |
|  　　　　←なった □５　□４　□３　□２　□１ならない→  |
|  (5) その他 |
|  |
| **４　利用者サービスの充実** |
|  (1)　居室が清潔に保たれるようになりましたか。 　□該当しない。 |
|  　　 ←なった □５　□４　□３　□２　□１ならない→ |
|  (2)　急な受診送迎にも対応出来るようになりましたか。 □該当しない。 |
|  　　←なった □５　□４　□３　□２　□１ならない→ |
|  (3)　職員が利用者との外出など利用者の生活の質の向上が見られましたか。 |
|  　←見られた □５　□４　□３　□２　□１見られない→ |
|  (4)　食事の提供は、従来より円滑になりましたか。 □該当しない。 |
|  ←なった □５　□４　□３　□２　□１ならない→ |
|  (5)　その他 |
|   |
| ５　その他 |
|  |

**介護助手導入の評価**

 次の各項目について、評価の度合いを記載してください。

|  |
| --- |
| **１　所属長の評価** |
|  (1) 全体的に見て介護助手導入をどの様に評価しますか。 |
|  ←大いに評価する □５　□４　□３　□２　□１評価しない→ |
|  (2) 個々の評価 |
|  ア 職員の負担の軽減について |
|  　　←大いに評価する □５　□４　□３　□２　□１評価しない→ |
|  イ 業務の効率化について |
|  　　←大いに評価する □５　□４　□３　□２　□１評価しない→ |
|  ウ 介護の質の向上について |
|  　　 ←大いに評価する □５　□４　□３　□２　□１評価しない→ |
|  エ 利用者サービスの向上について |
|  　　←大いに評価する □５　□４　□３　□２　□１評価しない→ |
|  オ 介護助手雇用経費に比べて、業務の効率化について |
|  　　←大いに評価する □５　□４　□３　□２　□１評価しない→ |
| **２　職員の評価**  |
|  (1) 介護助手の導入について  |
|  □必要としている。　□居れば有り難い。 □どちらでも良い。 □居なくとも良い。 |
|  (2) 負担の軽減について |
|  □大いに助かっている。　□どちらかと言うと助かっている。　□変わらない。  |
| **３　介護助手業務の今後の取組** |
| 　　　　　　 □ 現在の業務範囲で良い。 □ もう少し広げたい。 □ どちらとも言えない。 |
| **４　自由意見** |
|  |